

ROTAX MAX CHALLENGE GRAND FINALS 2012

PORTIMAO /
PORTUGAL
11/25-12/1

Grand Final Data:

Drivers: 276

Country: 53

Track length: 1.6km



一年間応援をありがとうございました。

ファイナルPPスタート。自分は“やれるんだ”ということを魅せることが出来たレース。

自身3度目のグランドファイナルの舞台は、日本がヨーロッパ人と最初に貿易をしたとされるポルトガルだ。グランドファイナルの開催国としては2回目であるが、僕は初めての渡葡となった。

まず、11/25日曜日にマシンの抽選。ここで自分が乗るマシンを決める。そしてマシンを組み立てる。これだけで、一日終了。イコールコンディションを徹底しているROTAXの良いところ。

11/26月曜日は20分1回、11/27火曜日は15分2回、11/28水曜日の午前中1回だけの練習走行。全部でたったの4回。限られた中でいかにうまくまとめて行けるかが重要である。練習は常に好感触で走行でき、期待感と満足感を持って終えた。

11/28水曜日の午後はQualifying Practice。今回のサーキットは物凄くスリップストリームが効くコースで、その有無でタイムがコンマ5秒も変わる。当然皆スリップ合戦だ。ほぼ全車同時というタイミングでコースへ。自分は必死にスペースを探したが惜しくも引っかかってしまいTOPから0.204差で総合7位。

11/29木曜日11/30金曜日はQualifying Heat。全ヒートC組2列目からのスタートだ。C×Dではトップを引っ張るが3位。A×Cではセッティングを大幅に外したがこらえて4位。最後の予選では雨で前半ペースが上がらなかったが後半一気に巻き返し3位。うまくまとめた。3回目となると予選で思い切ったセット変更をする余裕も出てくる。今回は失敗だったが、今年EUROシリーズでの苦労がかなり生きて巧く抑えた。

いよいよFinal Day 12/1土曜日。PreFinalは5番手スタートから一気に

トップへ。しかしコースの特性もあって逃げれない。途中タイヤを熱くさせてしまったのでクールダウンをしながらいったん3番手へ。ファイナルイン側スタートを確保するためにこれを守るかごく一瞬考えたが、後半周回のパースが落ちた事を見逃さず反撃。レースするからにはいつなんどきも1位チェッカーを目指す。最終ラップのワンチャンスを生かしてトップチェッカー。会心のレース運びができて、今年の鬱憤が一気に吹き飛んだ瞬間だった。

FinalはPPスタートから逃げにかかると。大半の周回をTOPで引っ張り、幾度か逃げ切る機会を見出だそうと動いたが、あと少しのところでは逃げられないまま終盤を迎えラスト3周、2番手走行中コーナーリング中に後ろから止まれないスピードで強引に入られ大失速。大きく後退し、その後もチャンスを失い結果9位だった。

「右京クリーンなレースをありがとう」と言った優勝者チャーリーは元チームメイト。そこは気持ちよく健闘を称え合った。計量後、何故か僕の周りに沢山の人で「右京はクリーンで素晴らしいレースをした！」と周囲からは優勝者以上の称賛を頂戴した。結果は確かに悔しくてたまらないが、自分の走りをこの世界大会で認めてもらったことはとても意味のあることだと感じた。日本でもたくさんの方々がライブ中継やライブタイミングを観てくださったようで、エールをいただいたことは本当に嬉しく力になった。今度こそカートレースは卒業と考えているが、皆様には必ず返返しをしたい。ありがとうございました！